



省エネライフTOP >> [省エネ実践報告](#)

省エネ実践報告

G-Fileをつけてみて

■誰でもできるよ消費電力削減より(発行1999年11月北海道グリーンファンド)

●地球と仲良く暮らす、私の実践

家族構成 3人(夫・妻・娘(高校3年生))

節約目標 前年比5%減(グリーンファンド分捻出!)

採用した手段

- 洗濯機のコンセントを抜く
- 家具の後ろのコンセント用に孫の手スイッチを使い、テレビ・ステレオ・ビデオの待機電力カット
※ビデオの予約録画は、ほとんど使っていないため
- 長時間つけておく白熱灯を、電球色の蛍光灯に変えた(玄関)
- 電気炊飯器の保温をやめ、電子レンジで温める→節電効果大、しかも保温するよりおいしい
- 灯油ボイラーのスイッチをこまめに消す
- 厳冬期以外は、トイレの暖房便座をやめ、厚手のカバーを使う→まったく不便なし
- フローリングの床暖の上に敷いていたじゅうたんを6畳から3畳に変え、電気掃除機の使用を減らした。

達成度と評価

7月に夫が単身赴任から戻ってきたことで、昨年より家族が増えたにもかかわらず、削減率が大きかったのは、こまめな節電の効果と、16年くらい使用した冷蔵庫を夫が赴任先で使っていた省エネタイプの冷蔵庫と交換したためではないかと思えます。10月の消費電力が増えたのは、夫と娘のチャンネル争いに負け、しまっておいたテレビをまた使い始めたことが原因と考えられます。今後は冬場に向かって、送ればせながら受験勉強をはじめた娘の消費電力を、どの程度カバーできるかが課題です(娘の部屋にある温風式ストーブの消費電力の大きさに驚いています)。

テレビの視聴時間・夜更かし・パソコン・洗濯回数・トイレ温水洗浄など、もっと節電余地はあるのですが、生活行動をなかなか変えられなくなった年齢の家族を巻き込んだ節電対策としては、なかなかよいスタートだったと思います。節電になれてくると、いままで面倒だと思っていたこと(コンセントを抜くことなど)もあまり苦にならずにできるようになりました。費用対効果を考えて、節電グッズ(孫の手スイッチなど)を上手に使うことも、家族の協力を得やすく長続きするコツだと思います。それにしても、省エネタイプの家電製品の効果はバツグンです。買いかえる時は消費電力、要チェック!!です。

(札幌市:N.M)

| | 8月 | 9月 | 10月 | 合計 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 99年 | 184kWh | 175kWh | 207kWh | 566kWh |
| 98年 | 211kWh | 218kWh | 191kWh | 630kWh |
| 前年比 | 83.3% | 80.3% | 108.4% | 88.3% |

| | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 前年比料金 | -996円 | -1137円 | +364円 | -1769円 |
|-------|-------|--------|-------|--------|

[<<前のページに戻る](#)

[省エネライフ TOPページに戻る](#)

[▶ サイトマップ](#)

 Phone 011-280-1870 E-mail office@h-greenfund.jp 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2丁目JRタワーオフィスプラザさっぽろ20階

Copyright(C) 2018 Hokkaido Green Fund. All Rights Reserved.